

活動報告書

「地域で子どもを育む環境づくり」

～地域の連携・協働の推進～

令和5年3月23日

吉田町社会教育委員

令和5年3月23日

吉田町教育委員会
教育長 山田 泰巳 様

社会教育委員長 長谷川 敦己

活動報告書

テーマ「地域で子どもを育む環境づくり」

～地域の連携・協働の推進～

1 はじめに

近年、地域社会は人口減少、少子高齢化が急速な勢いで進行しております。

また、核家族化や単親世帯の増加による人と人とのつながりの希薄化等、様々な課題に直面しております。このような社会情勢の変化により、子どもを取り巻く環境も大きく変化し、家庭や地域の教育力の低下が指摘されているところです。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、社会教育事業においても地域の方が中心となって子どもたちと一緒に活動する交流事業や体験事業等も休止となり、子どもたちが様々な体験をする機会が減少しました。しかし、令和4年度になり、徐々に各種イベントが再開されてきております。

これらの背景を踏まえ、吉田町の未来を担っていく子どもたちが、安心して健やかに成長していくために、地域で子どもを育む環境を整備していくことがより一層重要になると考えます。

また、吉田町教育委員会では、令和2年3月に「吉田町教育大綱」を策定し「生涯にわたり学びあい高めあう人づくり」を教育目標として、その中の社会教育に係る重点施策の一つ「地域の子どもは地域で育てる」ことを掲げ、町ぐるみで子どもを育む体制づくりを推進しております。

2 社会教育委員の取組

社会教育委員は、教育を取り巻く課題が多様化・複雑化する中で、平成17年度から一貫して「子どもの健全育成」を大きな柱として環境の変化に対応した「社会教育のあり方」について話し合い、2年ごとに教育委員会へ提言等をしてきました。前回の令和3年3月には「子どもを育む環境づくりとして、新たに社会教育関係団体が一堂に会し、交流を図るイベントの実施」を提言しました。

そのイベントの実施に向け「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」に参加した団体から様々な意見や提案をいただき、社会教育委員会（年6回）において議論を重ねてきました。

(1) 「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」

「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」は、社会教育委員会において「地域で活動している社会教育関係団体が集まり、情報交換やネットワークを広げる吉田町社会教育プラットフォームの実施」を平成27年3月に提言し、平成28年3月から実施しています。

この「プラットフォーム」には、車両等の発着場のほかに「土台」や「基盤」といった意味があります。子どもの健全育成を行うにあたり、社会教育の基盤をしっかりとしたものになりたいという思いを込めて「社会教育プラットフォーム」と名付けました。

また、「社会教育プラットフォーム」をもっとなじみやすく、各社会教育関係団体の横のつながりや結びつきを強固にするために、事業名を「つながろうよしだ」としています。

令和4年度末時点で「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」は、11回実施し、多くの社会教育関係団体の皆さまに御参加いただきました。グループ協議では、各団体の現状や課題、様々な意見や提案等をいただきました。（資料①）

(2) 「社会教育フェスティバル つながろうよしだ」

「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」において、各社会教育

関係団体が一堂に会したイベントの開催が提案され、令和3年度開催に向け、議論を重ねてきました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」が開催できなくなり、そのため、令和3年度に開催を計画しておりましたイベントも中止となりました。

しかし、イベント実施の意欲は失われず、令和3・4年度に「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」を開催し、令和4年度のイベントの実施に向け、名称も「社会教育フェスティバル つながろうよしだ」に決定し、準備を進めてまいりましたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

今後、令和5年度の実施に向けて、参加者の意欲を高め参加することの本来の目的を皆さんに再度認識していただくことを「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」にて、伝えていきたいと考えています。

(3) 社会教育・協働体制の構築

「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」では、参加者が顔を合わせ、交流を重ねることで、社会教育関係団体同士の連携も生まれました。各地区の地域教育推進協議会（住吉わっぱくらぶ、かわしりっ子わんぱくサークル、片岡きらめき塾、自彊わくわく教室）では、4地区が連携したイベントを年3回実施しています。

そのほか、文化協会が主催する文化祭では、チャレンジ教室に参加する子どもたちの発表や、各社会教育関係団体からの意見や提案等から相互に連携・協働することが見受けられるようになりました。このような活動は、子どもを育む体制の強化につながっているものと考えています。

また、全国的に展開されている「コミュニティ・スクール」においては「地域とともにある学校」として、地域の力が求められています。

なお、社会教育委員においても「コミュニティ・スクールディレクター」や地域住民として、学校に関係した活動をしています。

地域学校協働本部体制の更なる強化と社会教育関係団体の連携・協働体制の構築が地域の教育力向上の基盤を支えるものと考えます。

これらのことから、社会教育委員会でも令和4年度に「牧之原市立細江小

学校」や「東京都三鷹市立連雀学園」に視察に伺い、また各社会教育委員会の研修会等に参加し、よりよい学校と地域のつながり方について調査・研究を行い、まず、現状を把握することが必要であると考え、イメージ図にまとめました。(資料②)

その結果、地域に開かれた学校を推進することが必要であり、そのためには、学校運営協議会と地域学校協働本部を一体的に推進していくため、各学校で地域学校協働活動について協議する場を設けることが必要であると考えます。

現状を考慮すると先進地視察の2校のように学校運営協議会(年3回)とは別に、学校運営協議会で決定した方針を具現化するために同じメンバーで具体策を話し合える実行委員会(仮称)の開催が望ましいと考えます。(資料③)

今後も、学校、地域との組織的な体制整備について、協力し見守っていくものとします。

令和3年度・4年度 吉田町社会教育委員

(任期 令和3年4月1日～令和5年3月31日)

長谷川 敦 己(委員長) 杉 山 俊 夫(副委員長)

増 田 好 乃 野 中 富 子

木 村 志 朗 柳 原 友 子

菅 澤 路 子 藪 田 省 次

三 輪 洋 士 織 田 澄 夫

【参考資料】

- ・吉田町社会教育プラットフォーム イメージ図（資料1）
- ・地域学校協働活動の現状（資料2）
- ・学校運営協議会及び地域学校運営活動のかかわり方（資料3）
- ・これまで実施した「社会教育プラットフォーム つながろうよしだ」（第1回～第8回）
- ・「社会教育プラットフォーム 第9回つながろうよしだ」実施報告書
- ・「社会教育プラットフォーム 第10回つながろうよしだ」実施報告書
- ・「社会教育プラットフォーム 第11回つながろうよしだ」実施報告書

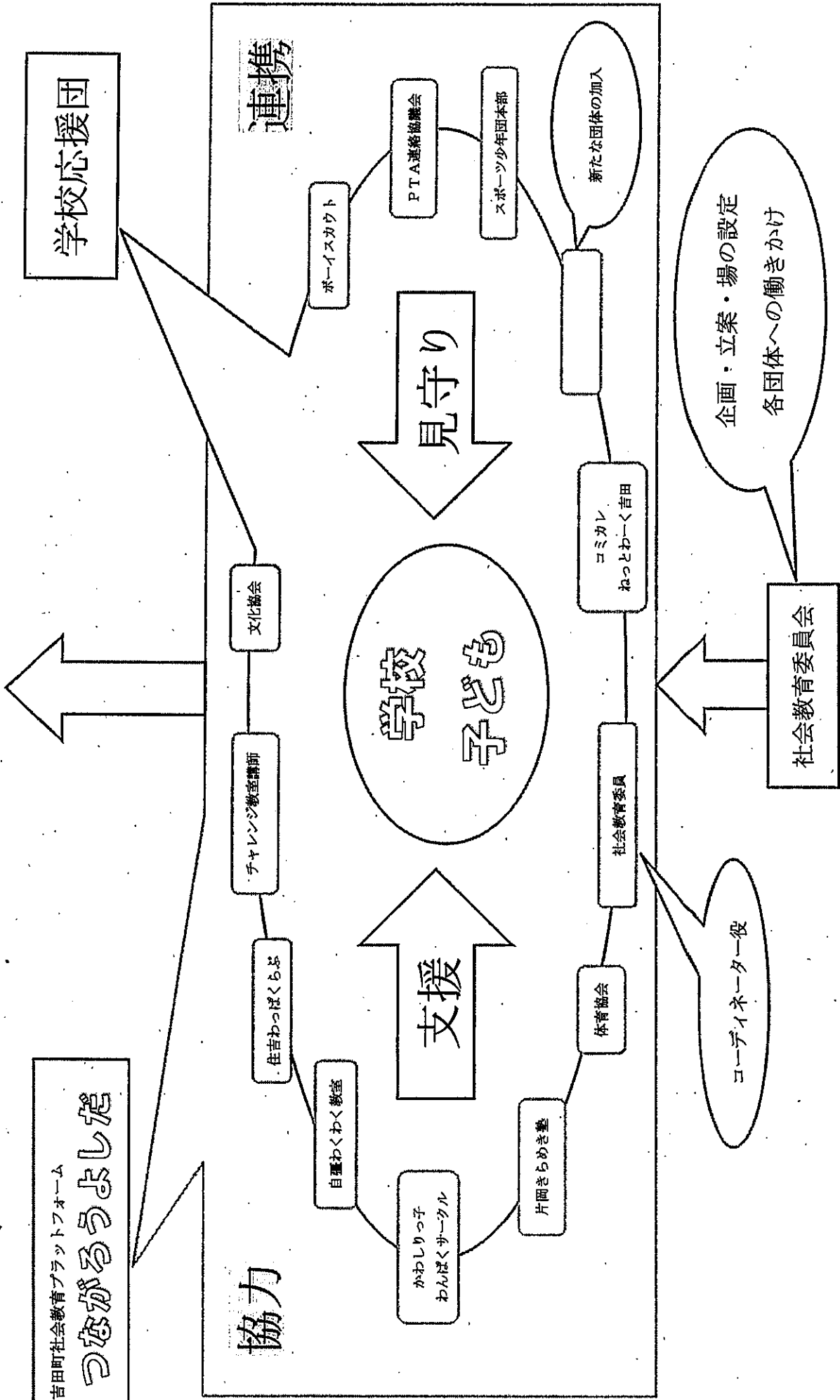
資料 1

子どもの健全育成
社会教育の基盤整備

- ・他の団体について知る
- ・各団体同士がつながり合う

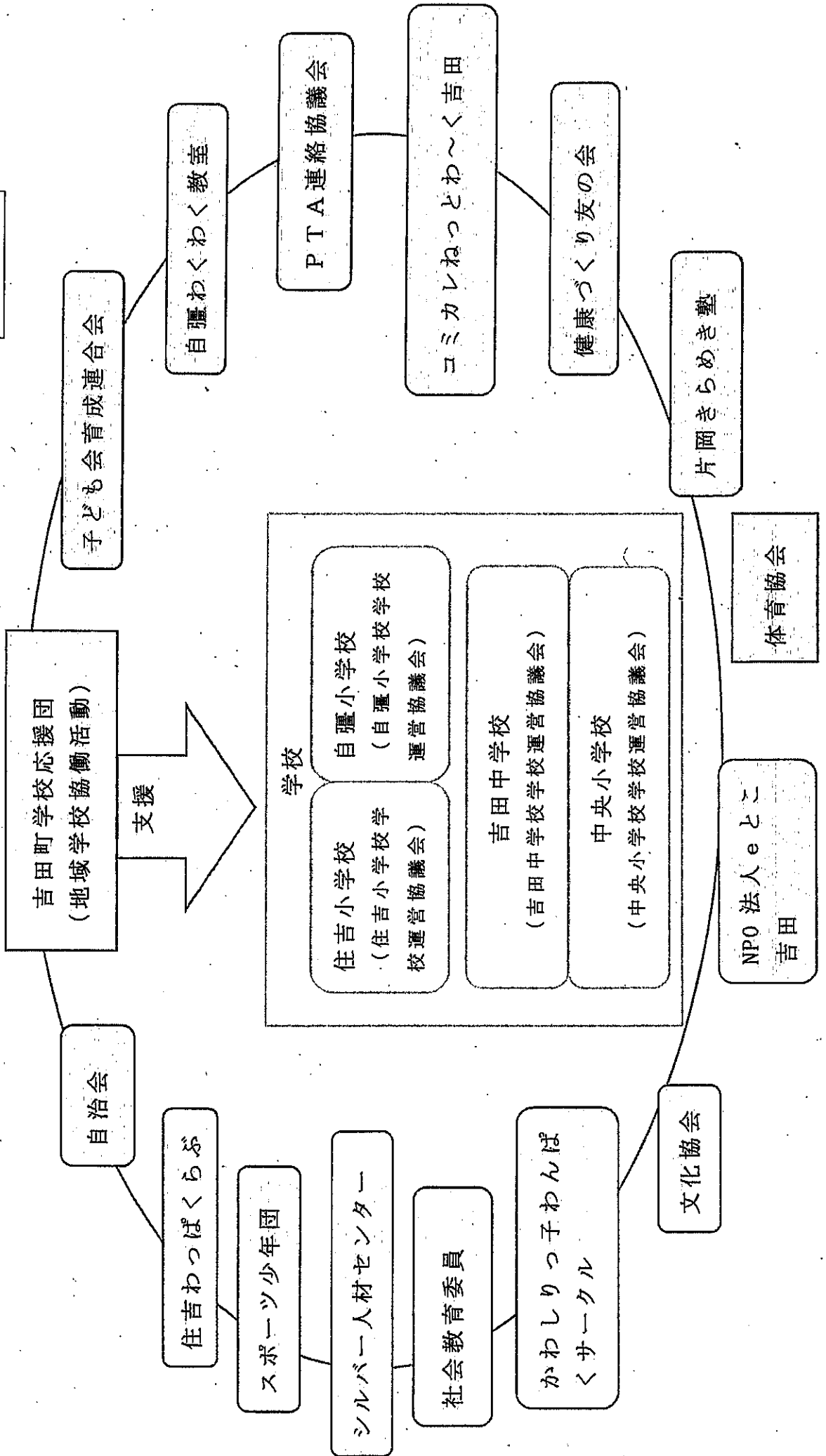
吉田町社会教育プラットフォーム

つながるうよしだ

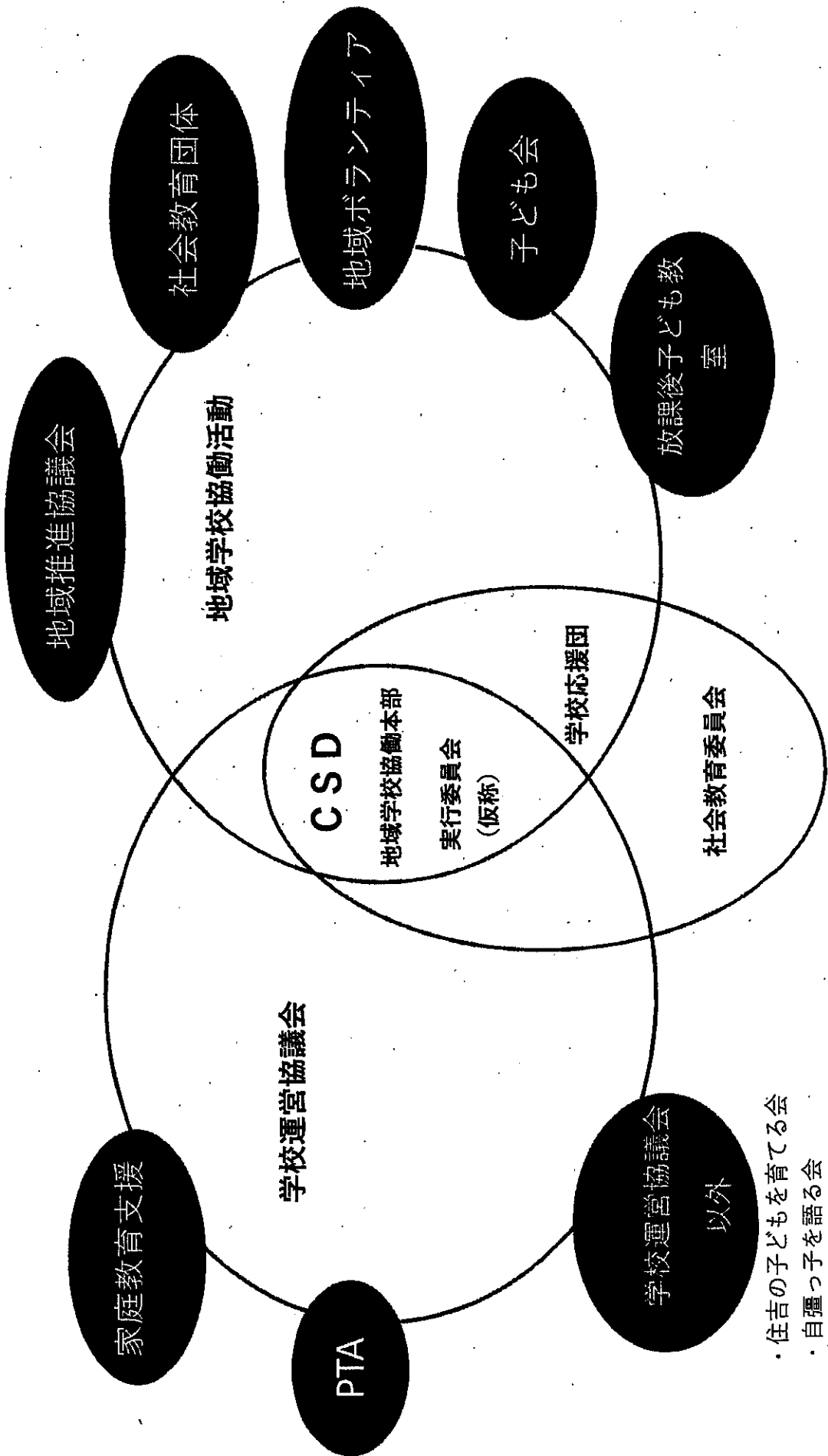


地域学校協働活動の現状

資料 2



学校運営協議会及び地域学校運営活動のかかわり方



- ・住吉の子どもを育てる会
- ・自彊っ子を語る会

吉田町社会教育プラットフォーム

「第9回つながろうよしだ」実施報告書

- 1 目的 子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、地域で子どもたちを育む必要があることから、子どもたちに関わる社会教育関係団体が、相互に連携・協力することで子どもたちを健全に育むと同時に、それぞれの団体同士が結びつくことによって、お互いの課題解決ができる関係を築くことを目的に「第9回 つながろうよしだ」を実施する。
- 2 日時 令和3年8月31日(土) 19:00～20:00
- 3 場所 中央公民館 1階ホール
- 4 参加者 22人
- 5 内容

(1) 開会	19:00
(2) 委員長あいさつ	19:01
(3) 協議事項	19:10
テーマ「大規模イベントの内容について、検討しよう」	
(4) 閉会	20:00

6 総括

吉田町社会教育プラットフォーム「つながろうよしだ」は、今回で9回目の実施となった。

社会教育プラットフォームでは、参加者から地域・団体の問題や課題などを出していただき、解決に向けて話し合い、多くの意見やアイデアが出されてきた。社会教育委員会では、その意見を取りまとめ、平成31年3月に「大連携のイベントの実施」について提言書を教育委員会へ提出した経緯がある。

第8回プラットフォームにて令和3年度に実施予定であった大規模イベントについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となったが、令和4年度の実施に向けて協議を行った。

今回は、大連携のイベントについて社会教育委員会の中で決めた検討事項案を出し、各団体代表者の方から活発な意見が交わされ、イベントの名称「社会教育フェスティバル つながろうよしだ」や日程等が決定した。

今後は、「社会教育フェスティバル つながろうよしだ」の実施に向けて、各参加団体と話し合いをしていく。

吉田町社会教育プラットフォーム 「第10回つながろうよした」実施報告書

- 1 目的 ・ 子どもたちを取り巻く環境が大きく変化している中で、地域で子どもたちを育む必要があることから、子どもたちに関わる社会教育関係団体が、相互に連携・協力することで子どもたちを健全に育むと同時に、それぞれの団体同士が結びつくことによって、お互いの課題解決ができる関係を築くことを目的に「第10回 つながろうよした」を実施する。
- 2 日時 令和4年3月18日(金) 19:00～20:00
- 3 場所 中央公民館 1階ホール
- 4 参加者 17人
- 5 内容

(1) 開会	19:00
(2) 委員長あいさつ	19:01
(3) 協議事項	
全体会「事業計画の検討」	19:10
グループ協議「各団体の実施方法検討」	19:25
(4) 発表	19:55
(5) 閉会	20:00

6 総括

吉田町社会教育プラットフォーム「つながろうよした」は、今回で10回目の実施となった。

社会教育プラットフォームでは、参加者から地域・団体の問題や課題などを出していただき、解決に向けて話し合い、多くの意見やアイデアが出されてきた。社会教育委員会では、その意見を取りまとめ、平成31年3月に「大連携のイベントの実施」について提言書を教育委員会へ提出した経緯がある。

第9回プラットフォームにて大連携イベントの名称を「社会教育フェスティバル つながろうよした」に決定し、詳細な日程や各参加団体の実施方法について、社会教育委員と協議を行った。